

「アジア健康構想」について

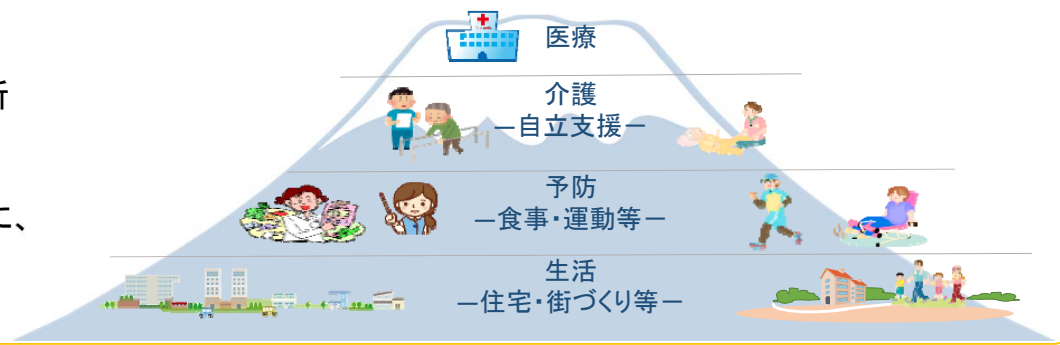
内閣官房健康・医療戦略室

健康・医療に関する国際展開について

健康・医療の国際展開の方向性

○健康・医療戦略の下、日本の国際医療拠点として平成29年度中に23ヶ所が運営を開始。

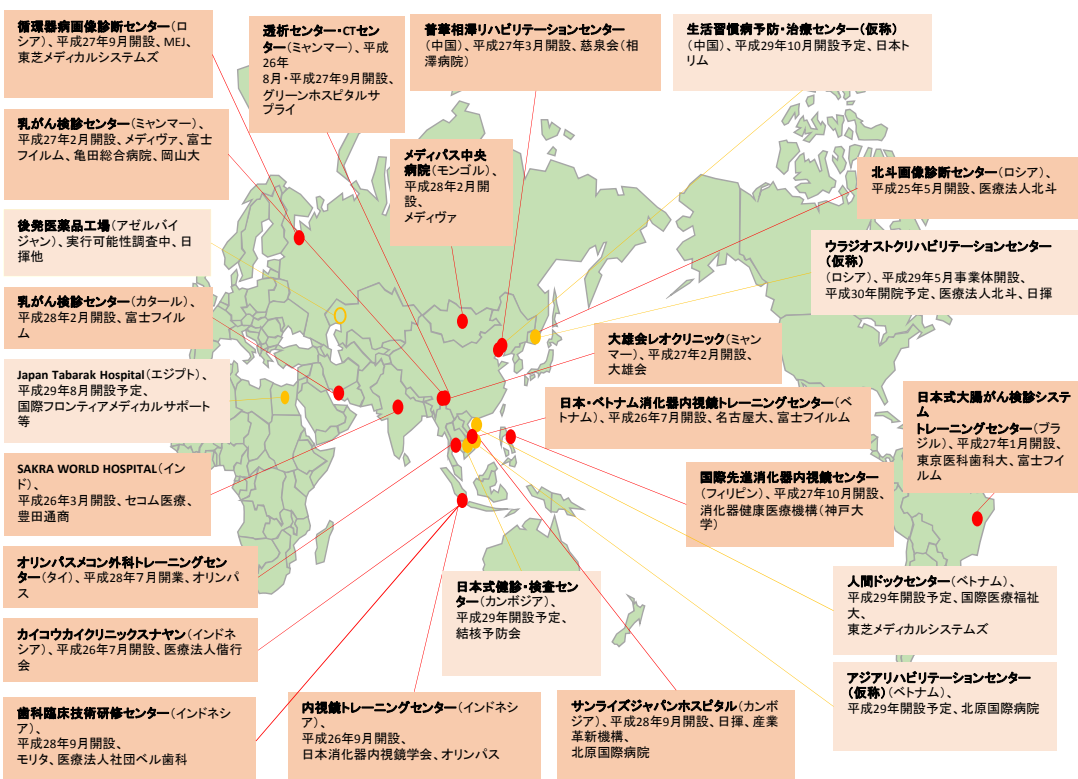
○相手国からはこれらの拠点が自国における医療の高度化に資するとともに、高齢化社会を見据え、予防、リハビリテーション、自立支援型介護等、裾野の広いヘルスケア産業の拠点となることへの期待あり。



日本の国際的な医療事業拠点の現状 (政府支援に関わるもの)

平成29年度中には合計23ヶ所が開業

- :平成28年度末時点で開業済み (17ヶ所)
- :平成29年度中の開業予定 (6ヶ所)
- :実行可能性調査中の医薬品工場 (1ヶ所)



アジア健康構想の推進

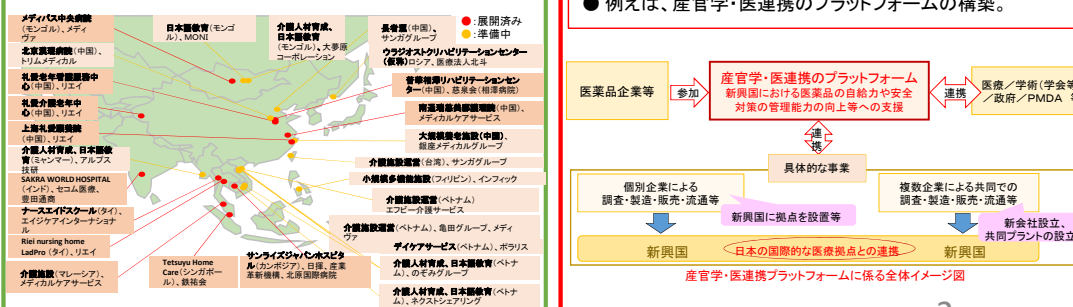
- 高齢者関連産業の振興
- 自立支援等専門的な介護技術の獲得



【経緯 (平成28年度)】

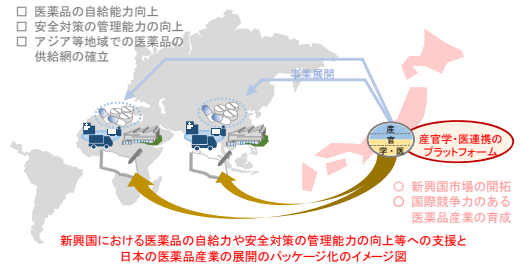
- 健康・医療戦略推進本部が「アジア健康構想に向けた基本方針」を決定。
- 官民連携プラットフォームとなる「国際・アジア健康構想協議会」を設置。
- 平成29年11月、技能実習の新法施行と同時に介護職種を追加。また、入管法の改正により、留学期後、介護福祉士の資格を取得した者は在留資格を取得可能。
- このような日本の新しい制度と日本の事業者の海外展開とを連携させた人材還流を実現。
- こうした構想の進捗を踏まえ、相手国と2国間覚書等を作成。

アジア健康構想に関連する介護・リハビリテーション等の事業者のアジア展開状況 (一部事例)



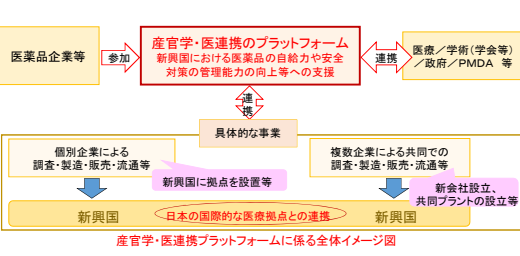
医薬品の新興国への展開

- 医薬品の自給能力向上
- 安全対策の管理能力の向上
- アジア等地域での医薬品の供給網の確立

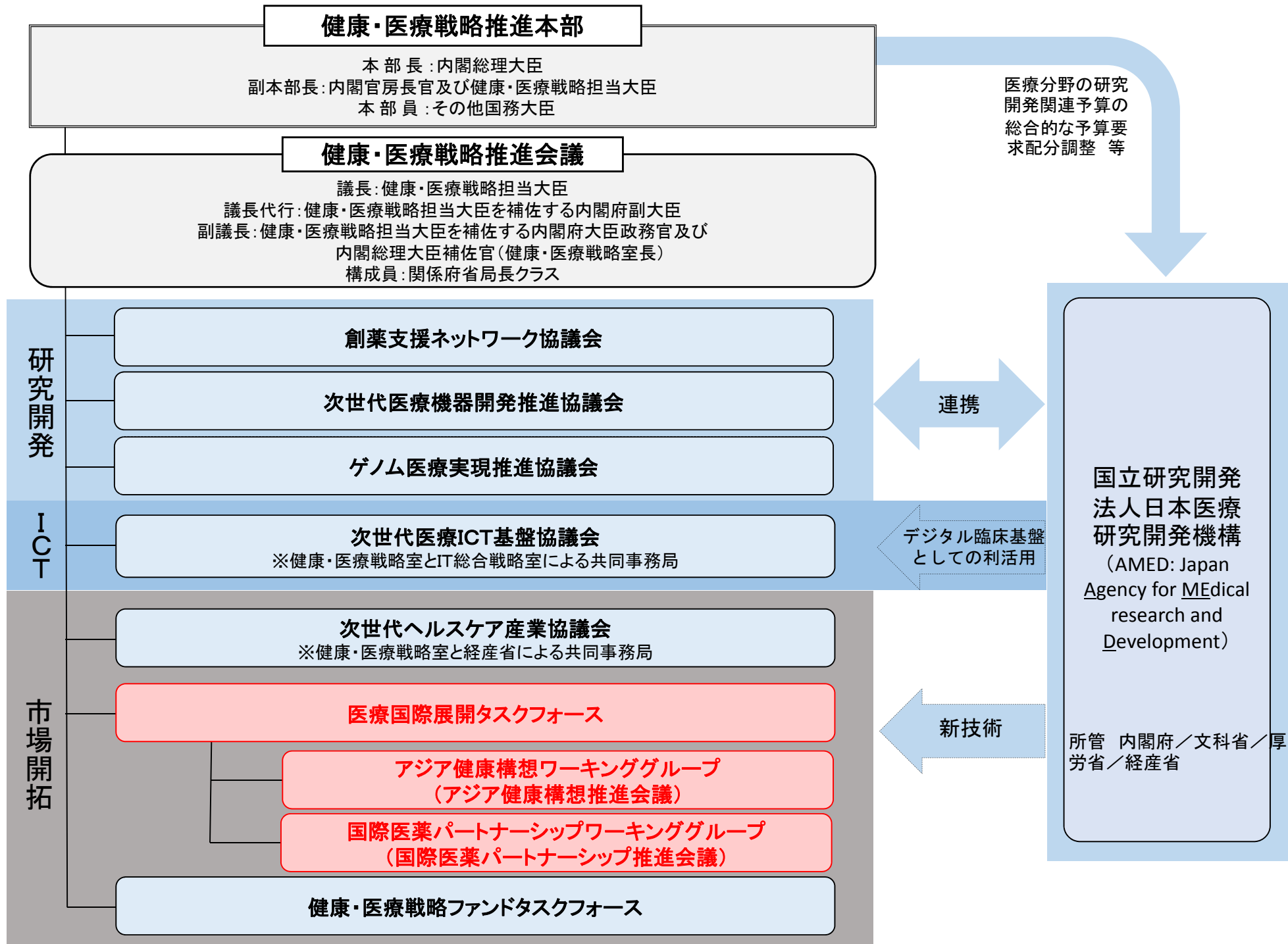


【課題】

- 日本の医薬品産業が新興国市場に展開するためには、新興国の医薬品の自給能力の向上、安全対策の管理能力の向上等への期待に応える相互互恵的なアプローチが重要。
- そのためには、日本の医薬品企業等がこうした考えの下、新興国での事業に取組む場合、日本の政府、学会、医療者等が必要な支援を適切な形で行うパッケージ化の枠組みの検討が必要。
- 例えば、産官学・医連携のプラットフォームの構築。



健康・医療戦略関係の推進体制



アジア健康構想の現状と課題(介護分野)

アジア健康構想とは

アジア健康構想は、日本で介護を学ぶアジアの人材を増やすとともに、日本の介護事業者のアジアへの展開や相手国自らが介護事業を興すことを支援することにより、日本で学んだ人材が自国等に戻った際の職場を創出し、アジア全体での人材育成と産業振興の好循環の形成を目指すもの。

アジア健康構想 これまでの経緯

- 平成28年5月、自由民主党よりアジア健康構想を提言。
- 平成28年7月、政府は提言を踏まえ、健康・医療戦略推進本部において「アジア健康構想に向けた基本方針」を決定。その推進体制として、本部の下、アジア健康構想推進会議を設置。また、本年2月に国際・アジア健康構想協議会(官民連携のプラットフォーム)が発足。

※写真は第1回国際・アジア健康構想協議会の様子(平成29年2月開催、約180事業者・400名)

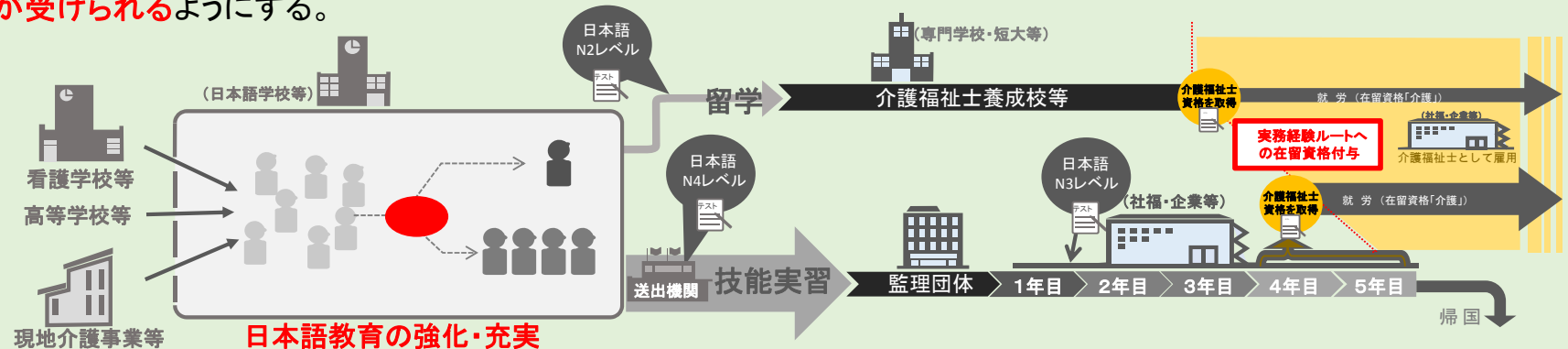


アジア健康構想 現状の取組

- 国際・アジア健康構想協議会の下、①アジアに紹介すべき「日本的介護」の整理(事例の整理等)、②人材還流・教育関連の整理、③介護事業者の海外展開支援に関するワーキンググループを設置。
- ASEANやAPEC等外交機会におけるアジア諸国への対外発信、高齢化関連シンポジウムの開催等。

現状を踏まえた次の課題

- 日本で介護を学ぶことが魅力あるものとなるよう努力するとともに、日本の介護に関心のある**アジアの人材が相手国内で、事前に質の高い日本語教育が受けられる**ようにする。



- 医療・介護の中核的役割を担うことが期待される**アジアの有望な人材**が日本で医療・介護の教育・研修を受けることや、日本の医療人材がアジアの国々で実践的な臨床修練を積めるよう、人材の**往来を創出**する。

- 自立支援に資するICTやロボットといった新しい技術も活用した、高度で質の高い**サービス**をアジア地域で提供できるよう、**事業者等を支援**する。



※写真(左)はベトナムにおける臨床修練の様子。写真(右)は日本における臨床研修。

アジア健康構想 推進体制

民間

民間 / 政府・与党

国際・アジア健康構想協議会

座長

中村秀一（一社医療介護福祉政策
研究フォーラム理事長）

副座長

幹事数人

企業／介護事業者／医療・介護関係者等で構成
※具体的には、商社等、包括的な視点を持つ企業
や実際に海外関連の事業等に取り組んでいる介護
事業者等の内、先駆的な提案や業界横断的な
取り組みに貢献できる者を初期メンバーとして検討

各WGのリーダー

国際・アジア健康構想連絡会

共同幹事

◎武見敬三
（国際保健医療戦略特命委）

◎和泉洋人
（アジア健康構想推進会議）

◎中村秀一
（国際・アジア健康構想協議会）

◎厚生労働大臣

準備会は、会議形式のみでなく、セミナー、シンポジウム、等
様々な手法を柔軟に組み合わせて推進。WGには、一定の条件
を満たせば、希望者(事業者)は参加を認めることを検討。

対外発信 / 対話

アジアに紹介すべき「日本的介護」の整理(事例の整理等)

人材還流・教育関連の整理

介護事業者の海外進出支援

国際保健医療戦略特命委員会

委員長 武見敬三

アジア健康構想推進会議 (アジア健康構想 WG)

議長 内閣官房 健康・医療戦略室長
構成員 法務省入国管理局長
外務省アジア大洋州局長
外務省アジア大洋州局南部アジア部長
外務省国際協力局長
外務省領事局長
財務省国際局長
文部科学省高等教育局長
厚生労働省医務技監
厚生労働省大臣官房総括審議官（国際保健担当）
厚生労働省人材開発統括官
厚生労働省社会・援護局長
厚生労働省老健局長
農林水産省食料産業局長
経済産業省通商政策局長
経済産業省貿易経済協力局長
経済産業省商務情報政策局長
国土交通省国際統括官

与党

政府

ERIA
東アジア・アセアン経済研究センター

WHO
神戸センター

国際機関



※上記写真は第一回国際・アジア健康構想協議会の様子

国際医薬パートナーシップについて

アジアにおける医薬品産業の振興

- UHCの達成には、医療・介護の技術の普及、保険等の制度整備、人材育成等に加え、医薬品へのアクセスも重要。
- 日本を含めたアジアで、相互互恵的な発展を見据えたアジアの医薬品の研究開発、製造、流通、安全規制、適正使用等の将来像を描きつつ、アジア諸国による自律的な医薬品の供給体制を構築。

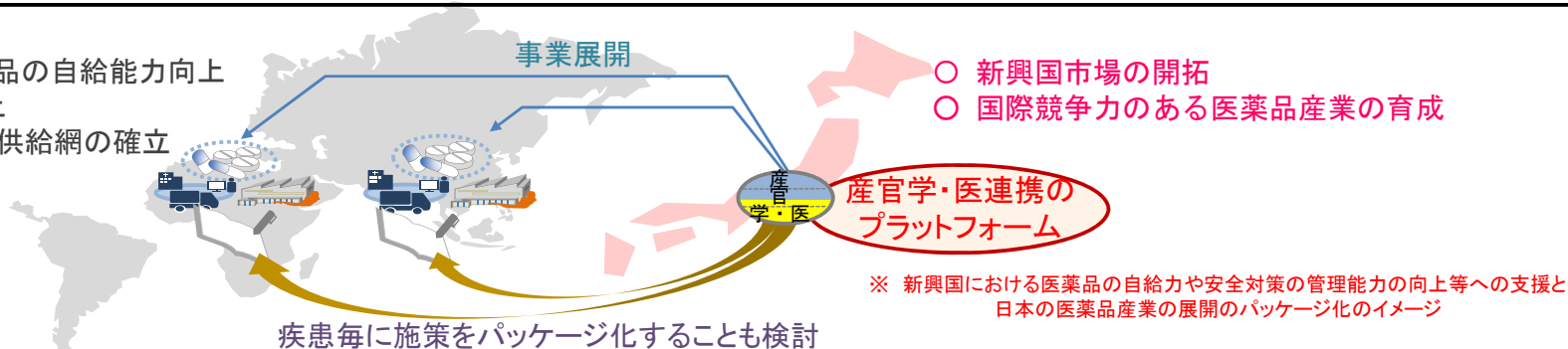
具体的な課題

- 健康・医療戦略推進本部において、アジアとの共生を視野に入れた新しい将来像、医薬品産業の在り方を明確にしつつ、具体的な取組への着手が必要。

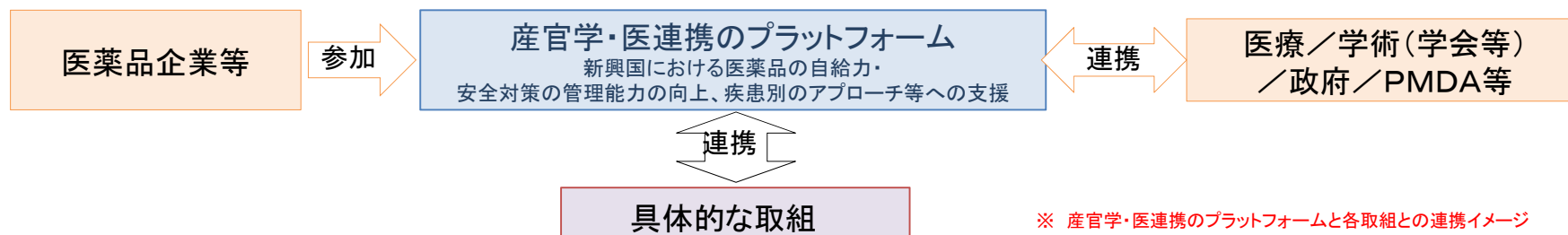
想定される初期の取組例

- ・ アジア現地で国際水準を満たすジェネリック医薬品等を製造
- ・ 日本がアジア市場にバイオシミラーを供給するために必要な国内開発のパイプライン及び生産設備の整備
- ・ 医薬品の承認に使われるデータのアジア諸国での相互運用性の確保等、日本とアジアの規制調和の推進
- ・ 多剤耐性菌制御のための抗菌薬の適正使用といった、日本が有する医薬品の適正使用の知識・経験のアジアへの共有
- ・ アジアでの国際共同治験を推進するための基盤構築(現地医師等に対する治験トレーニング、疾病レジストリの構築等)

- バイオ医薬品も含めた医薬品の自給能力向上
- 安全対策の管理能力の向上
- アジア等地域での医薬品の供給網の確立

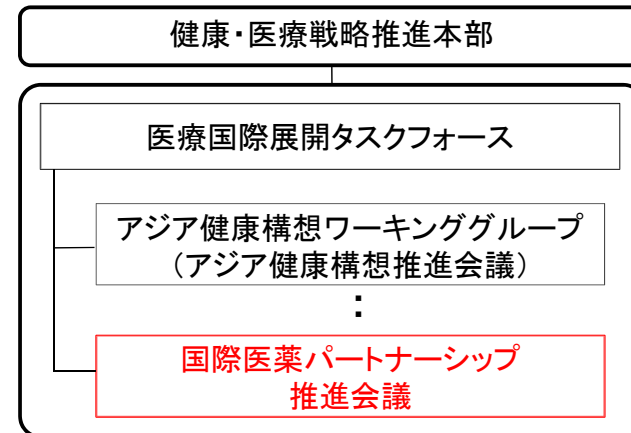


- 将来像を共有し実現を図るためには、アジアとの対話、事業を通じた協力について、政府、民間、医療界等が相互に対話をしながら取り組む必要がある。そのためには、まず、日本の関係者の一体的取組を可能とする産官学・医連携のプラットフォームとなる組織体が必要。



国際医薬パートナーシップ推進会議の構成員、オブザーバー

- 健康・医療戦略推進本部／医療国際展開タスクフォースの下に「国際医薬パートナーシップ推進会議」(右図)を設置。
- 新興国市場の開拓、及び新興国の医薬品の自給力向上、安全対策等の医薬品の適正使用の確保、アジア等地域内での医薬品の供給網の確立等への期待に応えるため、日本の政府、医療/学術(学会)等が必要な支援を適切な形で行う枠組みを検討。
- 推進会議の下で、具体的に事業を展開することに関心を持つ企業等がオブザーバーとして参加。



構成メンバー

議長 内閣官房健康・医療戦略室長

外務省経済局長

外務省国際協力局長

外務省地球規模課題審議官 (外務省地域関連部署は
課題に応じて参加)

厚生労働省医務技監

厚生労働省医政局長

厚生労働省医薬・生活衛生局長

経済産業省大臣官房商務・サービス審議官

(独)医薬品医療機器総合機構

(独)国際協力機構

(独)日本貿易振興機構

(国研)日本医療研究開発機構

(国研)国立国際医療研究センター

(公社)グローバルヘルス技術振興基金

(一社)メディカル・エクセレンス・ジャパン

オブザーバー

(株)国際協力銀行

(株)産業革新機構

(一社)日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会

在日ベトナム人協会 トランゴックフック会長

テルモ(株) 松村啓史 顧問

(国研)国立がん研究センター 藤原康弘 執行役員

アクティブファーマ(株)

朝日印刷(株)

あすか製薬(株)

アステラス製薬(株)

アルフレッサホールディングス(株)

伊藤忠ケミカルフロンティア(株)

稲畑産業(株)

エーザイ(株)

(株)NTTデータ経営研究所

大塚製薬(株)

(株)カルティベクス

キョーリン製薬ホールディングス(株)

協和キリン富士フィルムバイオロジクス(株)

鴻池運輸(株)

塩野義製薬(株)

シミックホールディングス(株)

(株)スズケン

大正製薬(株)

高田製薬(株)

武田薬品工業(株)

田辺三菱製薬(株)

第一三共(株)

大日本住友製薬(株)

中外製薬(株)

千代田化工建設(株)

東邦ホールディングス(株)

東和薬品(株)

富田薬品(株)

豊田通商(株)

日揮(株)

ニプロファーマ(株)

日本イーライリリー(株)

日本ケミファ(株)

パナソニックヘルスケア(株)

久光製薬(株)

富士製薬工業(株)

富士フィルム(株)

フロイント産業(株)

三菱倉庫(株)

MIMS Pte Ltd.

Meiji Seikaファルマ(株)

(株)メディパルホールディングス

ヤマトロジスティクス(株)

(上記以外の企業等も参加可)

「アジア健康構想に向けた基本方針」(概要)

アジア健康構想 (Asia Health and Human Well-Being Initiative) のポイント

アジアにおいて、急速に進む高齢化に対応したUHC*と健康長寿社会を実現し、持続可能な経済成長が可能な新たなアジアを創るため、アジア地域への地域包括ケアシステムの構築や日本の民間事業者等の進出促進等の相互互恵的なアプローチによる取組を進める。

※Universal Health Coverage : 全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態。

基本的考え方

- (1) **推進の方法**: 具体的な契機のある民間事業への支援から手がけつつ、相手国政府に対し日本の経験に基づく制度設計の提案等を行う。
- (2) **推進の時間軸**: 当初5年間は民間事業者等のアジア地域進出支援による介護サービスの認知向上に努め、以降は5年程度の単位でPDCAサイクルを回す。
- (3) **推進の体制**: 健康・医療戦略室と厚生労働省が開催する推進会議の下、構想の各段階に応じた役割を関係省庁で連携して分担する。

政府間協力

- (1) **協力の枠組み整備**: 地域包括ケアシステムの構築等を支援するため、高齢化対策を包摂した政府間の協力覚書作成。
- (2) **具体的協力**: 制度に関する経験・知見の共有(WHO神戸センターを活用)、必要な資格等のアジア地域での普及・整合等の推進。
- (3) **調査等促進**: アジア地域の高齢化等に係る調査と国際機関(ERIA、WHO神戸センター等)と連携した学術的な研究等を促進。
- (4) **人材育成と還流の促進**: 日本への留学生を増やし、海外展開しようとする企業とのマッチングの実施。

民間事業への支援

アジア地域に展開する介護事業者が直面する様々な困難を克服するため、以下の取り組みを官民連携で開始。

- (1) **協議会の設置**: 共通の課題等を検討し、具体的な対応を行うための官民連携のプラットフォームを設立。
- (2) **事業資金調達支援等**: JICA、クールジャパン機構等の活用促進による介護関連海外事業等への資金調達の円滑化。
- (3) **事業の組成等支援**: JETROによるオフィス機能の提供等の海外展開支援策のパッケージ提供により事業の組成等を支援。

今後に向けて

- 継続審議中の「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案」が成立した際には、新たな技能実習制度の施行と同時に介護の対象職種への追加が行われるとともに、同じく継続審議中の「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律案」が成立した場合には、新たに在留資格「介護」が創設されることとなり、成立後、アジア健康構想において、制度が活かされるよう必要な検討を行う。
- 予防関連サービスを積極的に海外展開し、日本の潜在的技術力が活かせる市場の確立を目指すとともに、ICT等の適用による介護分野の高度化について日本国内での普及をモデルケースとして進め、アジアへの展開につなげる。
- その他、新たに生じる課題等に柔軟に対応するため、随時、成果の達成状況を検証すると同時に国内外の事情を踏まえ、新しい試みを行う。